

自選二十句 (2023.1-2024.6)

新井婦紗子

初日の出幕張のビル茜色  
寝正月足ぶみしてるページかな  
春暁の二度寝にさそう魔界あり  
春めくや時折はしやぐ猫のいて  
春めくや吾も草花も立ちあがり  
杉の花目潰しの術かけきたる  
やまびこのさ迷う峡や山笑ふ  
地の力引き出す春の雨しきり  
春行くや里山膨る上総みち

色分けの園児の帽子チューリップ  
市の花の今が盛りよ風薫る  
風薫る秒針のなき花時計  
山容に濃淡あふれ夏兆す  
一部屋は納戸となりぬ更衣  
彩りや雨を喜ぶ七変化  
ひまわりや量感のある咲きつぷり  
列島は水のまほろば滝の音  
高原の池塘に浮かぶ翹雲  
暮れやすし一駅ごとの日暮れかな  
同期会なまり楽しむ夜長かな